職業・家庭/職業/家庭 指導内容確認表 平成29年4月公示 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領より して 見やすい 平成31年2月公示 特別支援学校 高等部学習指導要領より FONT ユニバーサルフォントを 20190311ver.能本大学教育学部附属特別支援学校 教材掘りおこしプロジェクト 一色階 2段階 働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる 勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学 勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学 働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動 学習活動 百古町 (7)動労の意義を理解すること。 (4)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協 (7)動労の意義について理解を深めること。
(4)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力についる。 (7) 働くことの目的などを知ること。 (ア) 働くことの目的などを理解すること。 働くことの (イ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くこと。 (イ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えること 勤労の意義 勤労の意義 力について考え、表現すること。 意義 くった、ながりること。 り)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む (ウ) 作業や実習等に達成感を得て,計画性をもって主体的に取り組むこと。 (ウ) 作業や実習等で達成感を得ること。 (ウ) 作業や実習等に達成感を得て,進んで取り組むこと。 ・ 職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習 こと。 職業に関わる事柄について,他者との協働により考えを深めたり,体験したりする字音 職業に関わる事柄について、考えたり、体験したりする学習活動 職業に関わる事柄について、考えを深めたり、体験したりする学習活動 (7) 職業に関わる知識や技能について 次のとおりとする (7) 職業に関わる知識や技能について 次のとおりとする 石助 「7」勝葉に関わる知識や核能について 次のとおりとする 5型) 7) 勝葉に関わる知識や技能について 次のとおりとする ) 職業生活に必要な知識や技能を理解すること。) 職業生活に必要な知識や技能を理解すること。) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解すること。 職業生活に必要な知識や技能について知ること。 )職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。 )職業生活に必要とされる実践的な知識を深め技能を身に付けること。 職業生活を含える社会の仕組み等があることを知ること 7. 職業生活を古える社会の仕組み等の利用方法を理解すること 職業生活をするよみ社会の仕組み等の利用方法について理解を浮めること 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術 対料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術に ) 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術につ 1 総 乃 7 について知ること。 へて理解を深めること。○ 使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的。 いく理解すること。 □ 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うご ☆ 作業理類が分かり 使用する道具等の扱い方に慣れること 企作業理騒が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解すること イ 職業 イ 職業 イ 職業 ⑦ 作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。 ③ 作業の確実性や持続性,巧緻性等を身に付けること。 ② 作業の確実性や持続性, 巧緻性等を高め, 状況に応じて作業すること。 ③ 作業の確実性や持続性,巧緻性等を高め,状況に応じて作業し,習熟すること。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 (イ) 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 (1) 転来生命に必要なあるが、村間が入る水ががすい、いて、水がらかってする。 ② 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現すること。 ② 生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考えること。 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表 ② 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現するこ ⑦ 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと。 では、 ) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え,他者との協働により改善を図 (7) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。 ① 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて,工夫すること。 ① 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。 ・ 職業生活に必要な健康管理について気付くこと 敬業生活に必要な健康管理について考えること 京職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること っこ。 『3 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えるこ》 職業生活や社会生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器に触れることなどに関わる学習活動 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動 B 情報機器の ア情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等 に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分 ア 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じ B 情報機器 ア コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること。 ア コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れること。 活用 に係らコンピューフ・マッパトないない がり、扱えること イ情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集 した情報をまどめ、考えたことを発表すること。 て適切に操作すること て適切に操作すること。 付輪セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い,収集 した情報をまとめ,考えたことについて適切に表現すること。 産業現場等に ア職業など卒業後の進路に必要となることについて理解すること。 ア職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めること。

思·利·表					イ コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えること。		イ コンピュータ等の情報機器を扱い,体験したことや自分の考えを表現すること。
知・技				産業現場等 おける実習	実際的な学習活動 ア 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べたりすること。 イ 職業や職業主活、連路に関わることについて、気付き、他者に伝えること。		実際的な学習活動 ア 職業や進路に関わることについて調べて、理解すること。 イ 職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表すること。 と、
							***************************************
知・技			A	ア 自分の 成長と家 族	自分の成長に気付くことや家族のことなどに関わる学習活動 (ア) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ること。 (イ) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にする気持ちを育み、よりよい関わり方に ついて気付き、それらを他者に伝えること。	ア 自分の 成長と家 族	自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (ア) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解すること。 (イ) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にする気持ちを育み、よりよい関わり方について考え、表現すること。
知・技			家族・	イ 家庭生 活と役割	業業のすての後期をどに増わる学業活動 (7) 家庭における分割が出たの間かについて関心をもち,知ること。 (4) 家庭における学者に必要をことや自分の果ます役割に気付き、それらを他者に伝えること。 (5) 家庭における宗者の過ごしたなどに関わる学者活動 (7) 健康や後年の発程の適ごしたなどに関わる学者活動 (7) 健康や後年の発程の適ごしたいてかめ、実践しようとすること。 (4) 望ましい生活環境や健康及び様々で企業の適ごし方について気付き、工夫することが必定となるとは関わる学者が動 (7) 幼児の特徴で適ごし方について知ること。  エ (7) 幼児の特徴で適ごし方について知ること。	イ 家庭生 活と役割	家庭生活での役割などに関わる学習活動 (ア) 家庭における役割や地域との関わりについて調べて、理解すること。 (4) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一貫として、自分の果たす役割を考え、表現すること。
知・技			家庭	ウ 家庭生 活における 余暇		ウ 家庭生 活における 余暇	家庭生等における健康や姿態に関わる学習活動 (7) 健康管理や余暇の通ごし方について理解し、実践すること。 (4) 望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の通ごし方について考え。 表現すること。 家族との触れないや地域の人のと様することなどに関わる学習活動
知·技			生活	エ 幼児の 生活と家 族		エ 家族や地 域の人々と の関わり	承族との機れ合いでは吸収の人々と使することなど、同内の古書活動 (7) 地域生活や地域の活動について調べて、理解すること。 (4) 家族との触れ合いや地域生活に関心をもち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付き、表現すること。
					食事の仕方や食事の大切さに気付くことなどに関わる学習活動		楽しく食事をするための工夫などに関わる学習活動
知·技				ア 食事の 役割	(7) 健康な生活と食事の役割について知ること。	ア 食事の 役割	(7) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解すること。
思·利·表		家		12.03	(4) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き、それらを他者に伝えること。	12.01	(イ) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現すること。 バランスのとれた食事について考えることに関わる学習活動
知・技			В		必要な材料を使って食事の準備をすることなどに関わる学習活動	イ 栄養を考えた食事	ハランスのCれた良事について考えることに関わる子音活動 (7) 身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践すること。 (1) バランスのとれた金事について気付き、献立などを工夫すること。 食事の準備や調理の仕方などに関わる子音活動
知·技		庭分	衣命	イ 調理の 基礎	(7) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること。	ウ 調理の 基礎	<ul><li>(7) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切にできること。</li></ul>
思·利·表		野	食住	1	(4) 簡単な調理計画について考えること。 衣服の着方や手入れの仕方などに関わる学習活動		(1) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫すること。 衣服の手入れや洗濯の仕方などに関わる学習活動
知·技		2]	ほの	ウ 衣服の 着用と手	(7) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り,実践しようとする	エ 衣服の 着用と手	(ア) 日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践すること。
思·判·表			生	入れ	こと。 (1) 日常着の着方や手入れの仕方に気付き、工夫すること。	入れ	(4) 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫すること。
知・技			活				
知·技				エ 快適な	持ち物の整理や住まいの清掃などに関わる学習活動 (7) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとするこ	オ 快適で	住まいの整理・整頓や清掃などに関わる学習活動 (7) 快適な住まい方や,安全について理解し,実践すること。
思·利·表				住まい方	と。 (4) 季節の変化に合わせた住まい方,整理・整頓や清掃の仕方に気付き,工夫する	安全な住ま い方	(イ) 季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付き、工夫すること。
		-			こと。 質物の仕組みや必要な物の選び方などに関わる学習活動		身近な消費生活について考えることなどに関わる学習活動
			С		(7) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとすること。		(7) 生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践すること。
知·技	生活科		消費生	ア 身近な 消費生活	)	ア 身近な 消費生活	
思·利·表	金銭の扱い」		生活		(4) 生活に必要な物を選んだり。物を大切に使おうとしたりすること。		(4) 生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすること。
知・技			環境	イ 環境に 配慮した生 活	身近な生活の中で環境に配慮することに関わる学習活動 (ア) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとすること。 (4) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫すること。	イ 環境に 配慮した生 活	自分の生活と環境との関連などに関わる学習活動 (ア) 身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて 理解し、実践すること。 (4) 身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて、物
					1段階		の使い方などを工夫すること。 2段階
						学部	2+XTB
					Ψ=	는 되나	

衣食住の生活 C 消費生活・環境	イ消費者の 基本的な権 利と責任	消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動 (7) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす 影響について負付くこと。 (4) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現 すること。	イ消費者の 基本的な権 利と責任	消費者の基本的な権利と責任に関わる学習活動 (7)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす 影響について理解すること。 (4)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫 すること。	知-#					
	ア 消費生活	⑦ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと。 ② 赤翼契約の仕組み、消費者被害の需要とその対応について理解し、物資・サービス の選択に必要な情報の収集・整理ができること。 (1) 物質・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。	ア 消費生活	⑤ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解 ちこ。 (3) 売取契約の仕組み、消費者権害の需要とその対応について理解し、物質・サービス の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 (4) 物質・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。	知-					
		消費生活に関わる学習活動 (7) 次のような知識及び技能を身に付けること。		消費生活に関わる学習活動 (7)次のような知識及び技能を身に付けること。						
	オ 住居の基本的 な機能と快適で安 全な住まい方	住居の基本的な機能や快量で安全な住主い方に関わる辛苦活動 (7) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ること。 (4) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現すること。	エ 布を用いた製作 オ住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	住居の基本的小機能や快適で安全化住まい方に関わる学習活動 (7) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する こと。 (4) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、エ失すること。	知一思中					
	エ 布を用いた製作	布を用いた製作に関わる学習活動 (7) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。 と。 (4) 目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。		布を用いた製作に関わる学習活動 (7) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。 (1) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫すること。	知一思·非					
	ウ 衣服の選択	(7) 衣服と社会生活との関わりが分かり,目的に応じた着用、個性を生かす着用及び、 衣服の適切な選択について理解すること。 (4) 衣服の選択について考え、工夫すること。	ウ 衣服の手入 れ	(7) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 (1) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫すること。	知-					
	イ 日常食の調 理	日音変の選邦に関わら学習活動 (7)日常生活と的随着付け、用途に応じた食品の選択、食品や関連用具等の安全と衛 生に留意した管理。材料に適した加熱開閉の仕方について加り、蒸燃的な日常食の 調料ができること であることがある。 (3)日本では日常食の課程について、食品の選択や課度の仕方、調理計画を考え、表 (3)日本で、飲料と学園活動	イ日常食の調理	日常食の問題に関わる学習活動 (グ)日本生活を開発すけ、開始に成けた食品の選択、食品や開理用具等の安全と術 生に留意した管理、材料に適したか熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食 の調度が環切されてきること。 (イ) 基本的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、エ 名類の多人と記憶のよ響音活動	知					
В										
	食事の役割	<ul><li>(f) 生活の甲で 資事が果たす役割について埋解すること。</li><li>(f) 健康によい食習慣について考え、工夫すること。</li></ul>	養を満たす食 事	すること。 (1) 一日分の献立について考え,工夫すること。	思-#					
	7	食事の役割に関わる学習活動 (7) 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。	ア 必要な栄	自分に必要な栄養を満たす食事に関わる学習活動 (7) 自分に必要な栄養素の種類に働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解	<u>₹n</u> -					
、家族・家庭生活	エ 乳幼児や 高齢者などの 生活	乳効果や高齢者と接することなどに関わる学育活動 (7) 乳効果や高齢者などの生活の特徴、乳効果や高齢者などとの関わり方について 気付くこと。 (4) 乳効果や高齢者などのよりよい関わり方について考え、表現すること。	イ家庭生活で の役割と地域と の関わり ウ家庭健康管理 と余暇 エ乳幼児や 高齢者などの 生活	乳幼児や高齢者と接することなどに関わる学習活動 (7) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方 について理解すること。 (4) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、エ夫すること。	知-#					
	ウ 家庭生活に おける健康管理 と余暇	(7) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと。 (4) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと。 家庭生活における硬養管理や余報に関わる子智活動 (7) 健養管理や余報のあ物な過ごし方について導発し、実践すること。 (4) 健康管理や余暇の有効な過ごし方についてする。表現すること。		<ul><li>(7) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深め、実践すること。</li><li>(4) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫すること。</li></ul>	知 8-4					
	イ 家庭生活で の役割と地域と の関わり			1 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解すること。 (1) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解すること。 (1) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、エ夫すること。 家庭生活における健康管理や余戦	知思。					
	長と家族	よって営まれていることに気付くこと。 (イ) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現すること。 家族との触れ合いや地域の人々と捧することなどに関わる学習活動	長と家族	て営まれていることを理解すること。 (イ) 家族とのよりよい関わり方について考え、エ夫すること。 イ家庭生活での役割と地域との関わり	18-					
_	ア 自分の成	自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (7) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり,家庭生活が家族の協力に	ア 自分の成	自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (7) 自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によっ	ŧο					
	8317 W E	イ 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現すること。		イ 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現すること。	28-1					
	らける実習									